

# 2020年度 まことこども園 自己評価公表シート

## 1・園の教育保育目標

「優しい思いやりのある子」

「明るい元気な子」

「何事にもがんばる子」

を教育保育目標とし、乳幼児期にふさわしい環境の下で、友達や保育者と楽しく充実した生活を営み、そして人間として生きる力の基礎となる、豊かな心、意欲、態度を育てること、すなわち『こころの育ち』を支えることを本園の目標としています。

## 2・2020年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに、設定した園評価の具体的な目標や計画

### 保育棟

個々の生活リズムを大切に、安全で清潔な環境を整え健康増進を図る。保育者との信頼関係を深め、一人ひとりの子どもが安心感を持って過ごせるようにする。

### 幼児棟

衛生的で安全な環境の中で、心身共に快適で安心した生活を送れるようにする。戸外遊びで積極的に身体を動かし、友達と遊びを通して約束を守る大切さを知る。

### 職員

アンテナを高くし、社会状況を見極め、保育や行事等を考え行っていく。自分自身の健康管理を怠らず、体調を整え日々を過ごす。

## 3・評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目  | 結果 | 理由   |
|---|----|--|
| 愛着形成を基本とし、子供たちが安心して毎日登園出来るよう、一人一人の状況をよく把握する。                      | A  | 発達の段階を良く理解し、一人一人に応じた保育を行うことができた。スキンシップが限られたり、マスクで表情が読み取れない中、出来る範囲内で触れ合い信頼関係を深めていくように努め、情緒的な絆も深めることが出来た。    |
| 食事や運動を基本とし、日々の保育の中で友達や保育者との関りを楽しむ。子どもたちの意欲を引き出し、音楽・造形・英語など何事も楽しむ。 | A  | 今年度はコロナ禍で室内ではマスクでの活動になったが、その分戸外ではマスクを外し十分に遊ぶ姿が見られた。保育室でも工夫をしながらの活動になったが、例年とは違った保育を取り入れ、好奇心や探求心を引き出すことができた。 |
| 職員の資質向上の為に、研修等に参加し、乳幼児理解に努める。                                     | B  | 例年に比べると、研修自体が少なく参加した回数も少なかった。しかし、個人で勉強する時間を大切に、一人一人が資質向上に努めた。  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 怪我、事故、災害時には職員全員が行動できるよう、安全に関する項目の共通理解を図る。また、園内環境整備にも目を配る。 | B | コロナ対応において、日々変化していく対応方法や、対応への確証を得られなかったため、十分なマニュアルを完成させることができなかった。今後も明確な情報や、保健所の指導を基に、不測の事態に備えていく。              |
| 保護者との信頼関係の構築に努める。   | A | 例年と違った行事が多く、変更についての説明をする事が多々あった。色々なご意見を頂きながら、日々の保育や行事を進めることが出来たと思う。行事に関しては、社会状況を見極め保護者の皆様が安心して送り出せる内容に変更していった。 |

#### 4・園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結果 | 理由   |
|----|--|
| A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年の保育と違い、登園時の検温や消毒、保育室の換気やマスクの着用など環境が大きく変わり、意識をしなければいけない点が増えた。色々な制約がある中だったが、子ども達との関り方は大きく変化しないよう、心の機微を見逃さないように心掛け保育を行うことが出来た。衛生面でも登園時の消毒や手洗いの更なる慣行、玩具や水道蛇口の消毒など気を配りながら進めることが出来た。</li> <li>・運動会などの大きな行事は、「開催して欲しい」と「心配だ」の意見をどちらも頂き、保護者の皆様が安心して頂ける形で開催するにはどうしたら良いのか頭を悩ませた。子ども達の安全と経験を最優先に考え行事の改善に努めた。</li> <li>・職員は社会状況を見極め、自分自身がどの様に行動したら良いのか、保育教諭としての自覚が大切な一年間だった。体調管理の徹底で全員が体調を崩すこともなく、健康に過ごすことができた。</li> </ul> |

#### 5・今後取り組むべき課題

| 課題             | 具体的な取り組み方法   |
|----------------|--|
| 安全・衛生面の強化      | 保護者、家族等のコロナウイルス感染時(PCR検査)の連絡の徹底と、体調不良時に登園を配慮して頂くお願い等、感染拡大防止対策の強化。                                  |
| 地域や関係機関との交流や連携 | 消防署との連携（AED使用講習等）  |
| 小学校との連携        | 小学校へよりスムーズに進学出来るよう、交流を図る。<br>小学校の先生にも子どもたちの園での様子を見て頂き、理解してもらえよう進めていきたい。また、小学生と園児が接する時間を、引き続き設けていく。 |

#### ◎「3・4」の評価結果の表示方法

|   |                   |
|---|-------------------|
| A | 十分達成されている         |
| B | 達成されている           |
| C | 取り組まれているが成果が十分でない |
| D | 取組が不十分である         |